



タイムライン読み合わせの実施

タイムライン読み合わせのスケジュール

内容

1. 趣旨説明
2. 各レベルの状況シナリオと河川国道事務所からの連絡内容の確認、運用支援ツールで確認できる情報の確認
3. 行動目的別に一連の流れの読み合わせ
(行動目的別に対応の確認⇒災害時の総括版・詳細版の活用方法の確認)
4. 運用支援ツールの確認
5. 今後の展開について

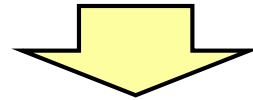
1. 趣旨説明

趣旨説明

■第1回、第2回検討会におけるグループワークの結果

- ◆『情報共有（道路被害や浸水状況等）に関すること』と、多機関で話し合う場がない等の『多機関連携に関すること』の2点が主に困っていることとして挙げられた。
- ◆各関係機関が利用している情報をオープンな情報とクローズな情報とに分けて意見交換を実施して、天神川流域に関わる情報を関係機関で共有し、これらのうちクローズからオープンになる情報があることが共有された。

※オープンな情報：インターネットやテレビなど不特定多数の人が利用できる公開されている情報
クローズな情報：特定の関係機関の間で共有・利用される情報



■タイムライン読み合わせの目的

- ◆次年度のタイムラインの円滑な運用の実現に繋げるために、タイムラインの流れや第1回検討会、第2回検討会で挙げられた、災害時に実施する行動や情報の共有方法を踏まえて作成した成果（概要版、総括版、詳細版、運用支援ツール）の活用方法について、関係者全員で確認します。

今後の台風時にタイムラインを試行・見直しを行い、タイムラインの深化を図ります。

趣旨説明

■タイムライン読み合わせ

本検討会では、読み合わせとして、関係者全員で①各レベルの状況シナリオと河川国道事務所からの連絡内容の確認、②円滑にタイムラインを運用するための運用支援ツールの活用方法、③タイムラインの流れの確認（概要版を用いて行動目的別に天神川水害タイムラインの全体像を確認）、④災害時の概要版・総括版の活用方法の確認を行います。

①各レベルの状況シナリオと河川国道事務所からの連絡内容の確認



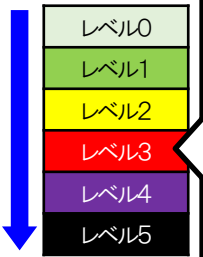
どのような状況で、河川国道事務所からどのような連絡が来るのだろうか。

例：タイムラインレベル3

洪水警報の危険度分布（警戒）
洪水警報、大雨警報（浸水害・土砂災害）
土砂災害に関するメッシュ情報（警戒）
氾濫警戒情報



件名：【重要】天神川水害タイムライン
天神川水害タイムライン検討会メンバー各位
水害タイムライン事務局より、以下のとおりお知らせします。
■現状について
右図の等は、現在〇〇付近に位置しており、尚も北東に進んでいます。現在、洪水警報が発表されています。また、一部の地域では内水氾濫が発生しており、天神川では〇〇水位観測所において避難判断水位を超過しました。
■今後の気象情報
○日には、天神川流域では、猛烈な雨と風が予想されており、厳重な警戒が必要です。
■タイムライン段階（レベル）について
気象情報等から、現在のタイムライン段階をレベル3とします。



各レベル毎に説明

③概要版を用いた天神川水害タイムラインの全体像の確認



これまで自機関が実施する行動は確認しているがタイムライン全体ではどのような動きになっているのだろうか。

レベル	組織体制	伝達・広報	避難支援	救助・水防活動	交通確保	ライフライン対策
レベル0
レベル1
レベル2
レベル3
レベル4
レベル5

目的別にレベル0～5までの行動を説明

②円滑にタイムラインを運用するための支援ツール、災害情報図の活用方法の確認



運用支援ツールでは、第2回検討会で共有したオープン情報やそのサイトが一元的に確認できる！



④災害時の概要版・総括版の活用方法の確認※



概要版では機関別に実施すべき行動が確認でき、詳細版ではさらに詳細な手段が確認できる！

※意見照会で事前に各関係機関の内容については、確認頂いているため、一例を紹介します

機関別に各レベルの行動を説明

総括版

詳細版

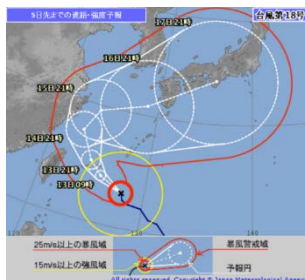
2. 各レベルの状況シナリオと河川国道事務所からの連絡内容の確認

各レベルの状況シナリオと河川国道事務所からの連絡内容の確認 -タイムラインレベル0（3日前）-

【発表される情報・状況】

- 3日後に台風が天神川流域に影響するおそれ
- 早期注意情報（警報級の可能性）【目安：3日後に影響】

【台風経路 気象庁HP（イメージ）】

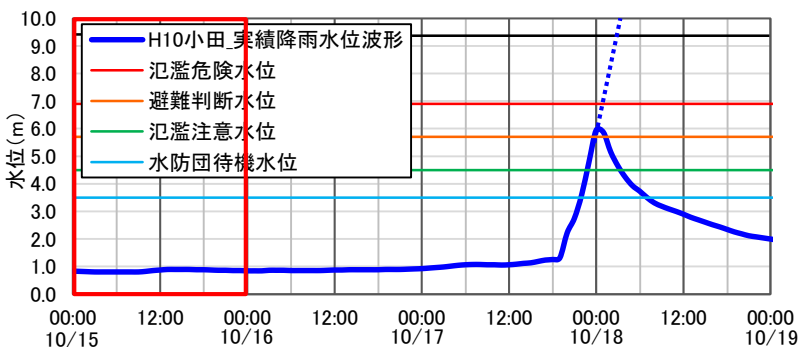


【早期注意情報 気象庁HP（イメージ）】

鳥取県中・西部の早期注意情報（警報級の可能性）
中・西部では、16日までの期間内に大雨警報、暴風警報を発表する可能性がある。

種別	警報級の可能性							
	15日		16日		17日	18日	19日	20日
	夕方まで	夜～明け方	朝～夜遅く					
大雨	-	-	-	-	[中]	[中]	[中]	
暴風	-	-	-	-	[中]	[中]	[中]	

【水位ハイドロ】



【河川国道事務所からメーリングリストで送信する文案】

件名 【重要】天神川水害タイムライン

天神川水害タイムライン検討会 メンバー各位

天神川水害タイムライン事務局より、以下のとおりお知らせします。

■現状について ①

台風10号は、令和2年10月15日15時現在、父島の南西約410km付近に位置しており、尚も北上中です。 ②

■今後の気象情報等について

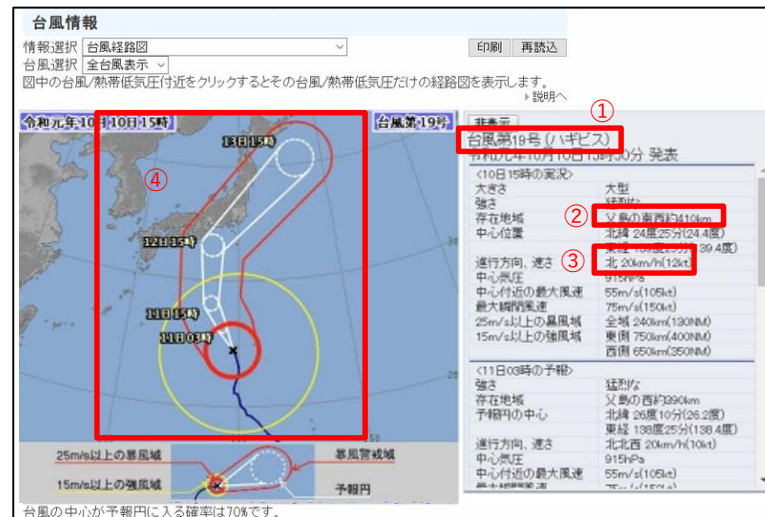
17日～18日には、天神川流域に最接近することが予想されます。 ④

天神川流域では、18日の早朝から雨と風の強まりが予想され、嚴重な警戒が必要です。

■タイムラインレベルについて

台風経路や今後の気象情報等から、レベル0（3日前）とします。

※今後、最新の警報・注意報・気象情報に十分留意してください。

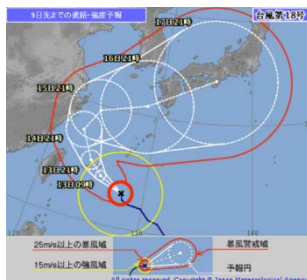


各レベルの状況シナリオと河川国道事務所からの連絡内容の確認 -タイムラインレベル0（2日前）-

【発表される情報・状況】

- 2日後に台風が天神川流域に影響するおそれ
- 早期注意情報（警報級の可能性）【目安：2日後に影響】

【台風経路 気象庁HP（イメージ）】

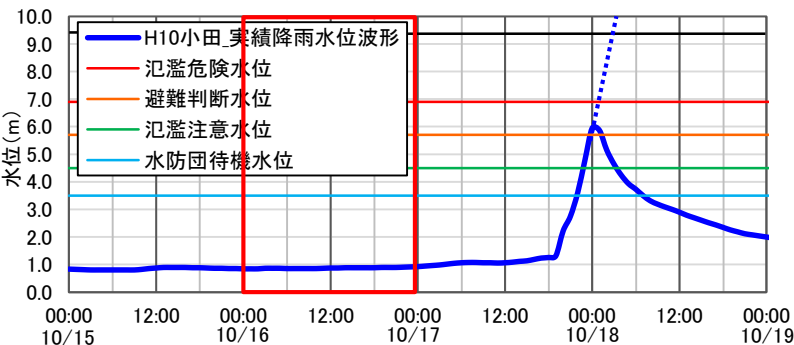


【早期注意情報 気象庁HP（イメージ）】

鳥取県中・西部の早期注意情報（警報級の可能性）
中・西部では、17日までの期間内に大雨警報、暴風警報を発表する可能性が高い。

種別	警報級の可能性							
	16日		17日		18日	19日	20日	21日
	夕方まで	夜～明け方	朝～夜遅く					
大雨	-	[中]	[中]	[高]	[高]	-	-	
暴風	-	[中]	[中]	[高]	[高]	-	-	

【水位ハイドロ】



【河川国道事務所からメーリングリストで送信する文案】

件名 【天神川水害タイムライン】
タイムラインレベルの移行について（レベル0）

天神川水害タイムライン検討会 メンバー各位

天神川水害タイムライン事務局より、以下の通りお知らせします。

■現状について ①
台風10号は、令和2年10月16日13時現在、父島の西北西約450km付近に位置しており、尚も北上中です。 ②

■今後の気象情報等について ③
17日～18日には、天神川流域に最接近することが予想されます。 ④
天神川流域では、18日の早朝から雨と風の強まりが予想され、厳重な警戒が必要です。

■タイムラインレベルについて
台風経路や今後の気象情報等から、レベル0（2日前）とします。

※今後、最新の警報・注意報・気象情報に十分留意してください。

台風情報

情報選択 [台風経路図] 印刷 再読込

台風選択 [全台風表示]

図中の台風/熱帯低気圧付近をクリックするとその台風/熱帯低気圧だけの経路図を表示します。

説明へ

令和元年10月11日12時

全台風表示

台風第19号 (19) (10/11)

令和元年10月11日12時45分 発表

<11日12時の実況>

大きさ	大型
強さ	強
存在地域	父島の西北西約450km
中心位置	北緯20.0度(137.8度)
進行方向、速さ	北北西 2.0km/h(13kt)
中心気圧	
中心付近の最大風速	50m/s(95kt)
最大瞬間風速	70m/s(135kt)
25m/s以上の暴風域	東側 370km(200N.0)
15m/s以上の強風域	東側 750km(400N.0)
	西側 280km(150N.0)
	東側 750km(400N.0)
	西側 650km(350N.0)

<12日00時の予報>

強さ	非常に強い
存在地域	八丈島の南西約430km
子報円の中心	北緯 30.0度(137.0度)
	東経 137.0度(137.0度)

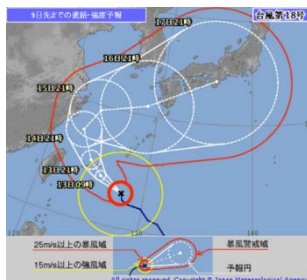
台風の中心が子報円に入る確率は70%です。

各レベルの状況シナリオと河川国道事務所からの連絡内容の確認 -タイムラインレベル1-

【発表される情報・状況】

- 翌日に台風が天神川流域に影響するおそれ
- 早期注意情報（警報級の可能性）【目安：翌日に影響】

【台風経路 気象庁HP（イメージ）】

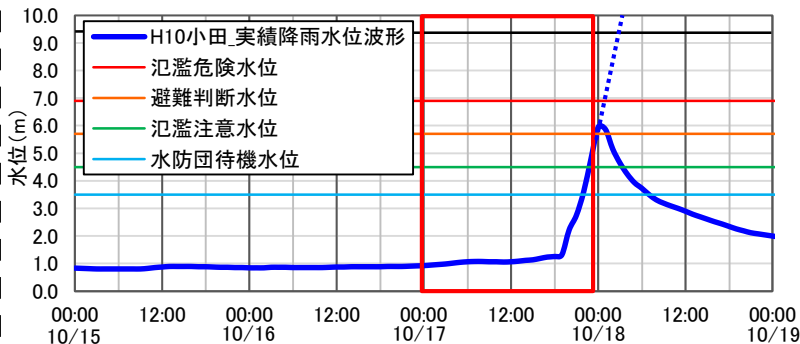


【早期注意情報 気象庁HP（イメージ）】

鳥取県中・西部の早期注意情報（警報級の可能性）
中・西部では、18日までの期間内に大雨警報、暴風警報を発表する可能性が高い。

種別	警報級の可能性								
	17日		18日			19日	20日	21日	22日
	夕方まで	夜～明け方	朝～夜遅く	19日	20日				
大雨	[高]	[高]	[高]	[高]	-	-	-	-	
暴風	[高]	[高]	[高]	[高]	-	-	-	-	

【水位ハイドロ】



【河川国道事務所からメールリストで送信する文案】

件名	【天神川水害タイムライン】 タイムラインレベルの移行について（レベル1）
メール文案	<p>天神川水害タイムライン検討会 メンバー各位</p> <p>天神川水害タイムライン事務局より、以下の通りお知らせします。</p> <p>■現状について 台風10号は、令和2年10月17日17時現在、沖ノ鳥島の東北東約380km付近に位置しており、尚も北上中です。</p> <p>天神川流域では、18日までの期間内に大雨警報、暴風警報を発表する可能性があり、18日の早朝から雨と風の強まりが予想され嚴重な警戒が必要です。</p> <p>■今後の気象情報等について 18日には、天神川流域に最接近することが予想されます。</p> <p>■タイムラインレベルについて 台風経路や今後の気象情報等から、<u>レベル1</u>とします。</p> <p>※今後、最新の警報・注意報・気象情報に十分留意してください。</p>

鳥取県中・西部の早期注意情報（警報級の可能性）

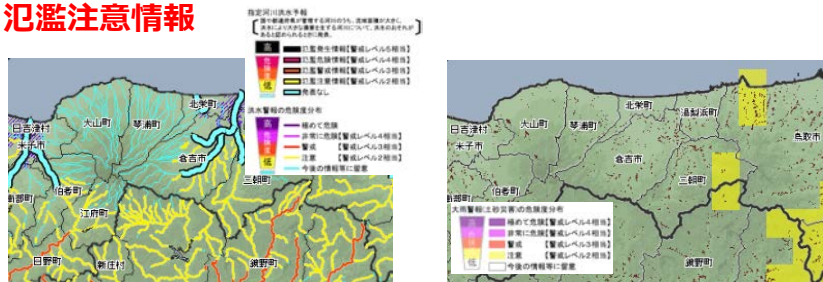
中・西部では、18日までの期間内に大雨警報、暴風警報を発表する可能性が高い。

種別	警報級の可能性								
	17日		18日			19日	20日	21日	22日
	夕方まで	夜～明け方	朝～夜遅く	19日	20日				
大雨	[高]	[高]	[高]	[高]	-	-	-	-	
暴風	[高]	[高]	[高]	[高]	-	-	-	-	

各レベルの状況シナリオと河川国道事務所からの連絡内容の確認 -タイムラインレベル2-

【発表される情報・状況】

- 洪水警報の危険度分布（注意）
- 洪水注意報、大雨注意報
- 大雨警報（土砂災害）の危険度分布（注意）
- 氾濫注意情報



洪水警報の危険度分布※ 大雨警報（土砂災害）の危険度分布※

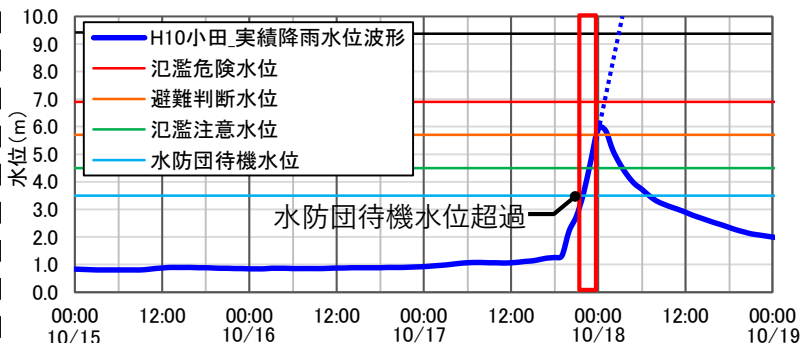
倉吉市【継続】大雨、雷注意報

倉吉市	発表中の警報・注意報等の種別	今後の推移(●警報級 □注意報級)								備考・関連する現象	
		5日				6日					
		9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	
大雨	1時間最大雨量(ミリ)	40	40	40	40	40	40	40			
	(浸水害)										浸水注意
	(土砂災害)										以後も注意報級 土砂災害注意
雷											以後も注意報級 突風

警報・注意報等の今後の推移※

※実際に発表した警報・注意報に基づく資料ではなく、見た目をわかりやすくした「イメージ図」です

【水位ハイドロ】



【河川国道事務所からメーリングリストで送信する文案】

件名	【天神川水害タイムライン】 タイムラインレベルの移行について（レベル2）
メール文案	天神川水害タイムライン検討会 メンバー各位 天神川水害タイムライン事務局より、以下の通りお知らせします。 ■現状について ・10月17日21時に天神川直轄管理区間では、 〇〇〇水位観測所で水防団待機水位を超過 しました。 ■タイムラインレベルについて 気象情報、河川水位の状況等から、 レベル2 とします。 各関係機関においては、移行レベルの行動状況について確認いただくとともに、引き続き、最新の気象情報等に十分留意してください。

タイムラインレベルの移行基準の情報（下記赤字箇所）が発表、確認された際に、「■現状について」に、その情報を記載してメールにより連絡します。

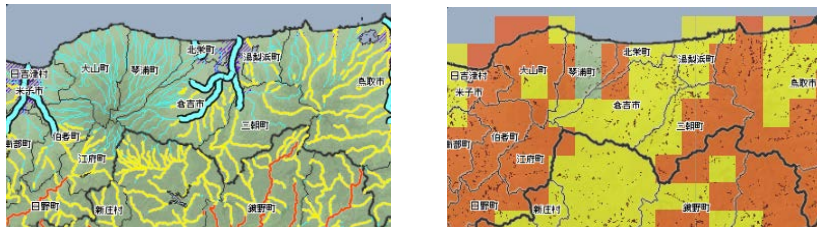
「■現状について」の文章パターン例

- ・〇月〇日〇時に天神川流域に「洪水注意報」「大雨注意報」が発表されました。
- ・〇月〇日〇時に天神川流域に「洪水警報の危険度分布」「大雨警報（土砂災害）の危険度分布」で**注意（黄色）**が確認されました。
- ・〇月〇日〇時に天神川で「氾濫注意情報」を発表しました。

各レベルの状況シナリオと河川国道事務所からの連絡内容の確認 -タイムラインレベル3-

【発表される情報・状況】

- **洪水警報の危険度分布（警戒）**
- **洪水警報、大雨警報（浸水害）、大雨警報（土砂災害）**
- **大雨警報（土砂災害）の危険度分布（警戒）**
- **氾濫警戒情報**



洪水警報の危険度分布※ 大雨警報（土砂災害）の危険度分布※

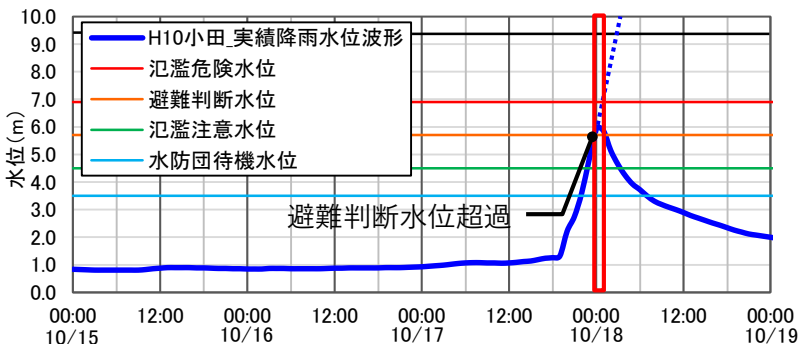
倉吉市【継続】大雨警報（土砂災害） 雷、洪水注意報

倉吉市 発表中の 警報・注意報等の種別	今後の推移										備考・ 関連する現象	
	5日					6日						
	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15			
大雨 (浸水害) (土砂災害)	1時間最大雨量 (mm)	40	40	40	40	40	40					
												浸水注意
												以後も警報級 土砂災害警戒
洪水 (洪水害)												
雷												以後も注意報級 突風

警報・注意報等の今後の推移※

※実際に発表した警報・注意報に基づく資料ではなく、見た目をわかりやすくした”イメージ図”です

【水位ハイドロ】



【河川国道事務所からメーリングリストで送信する文案】

件名	【天神川水害タイムライン】 タイムラインレベルの移行について（レベル3）
メール 文案	天神川水害タイムライン検討会 メンバー各位 天神川水害タイムライン事務局より、以下の通りお知らせ します。 ■現状について ・10月17日22時に天神川直轄管理区間では、 〇〇〇水位観 測所で避難判断水位を超過 しました。 ■タイムラインレベルについて 気象情報、河川水位の状況等から、 レベル3 とします。 各関係機関においては、移行レベルの行動状況について確認 いただくとともに、引き続き、最新の気象情報等に十分留意 してください。

タイムラインレベルの移行基準の情報（下記赤字箇所）が発表、確認された際に、「■現状について」に、その情報を記載してメールにより連絡します。

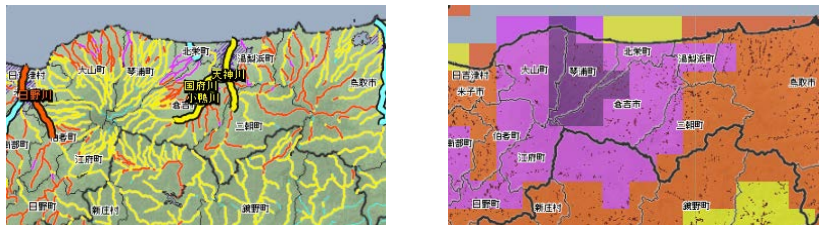
「■現状について」の文章パターン例

- ・〇月〇日〇時に天神川流域に「**洪水警報**」「**大雨警報（浸水害・土砂災害）**」が発表されました。
- ・〇月〇日〇時に天神川流域に「**洪水警報の危険度分布**」「**大雨警報（土砂災害）の危険度分布**」で**警戒（赤色）**が確認されました。
- ・〇月〇日〇時に天神川で「**氾濫警戒情報**」を発表しました。

各レベルの状況シナリオと河川国道事務所からの連絡内容の確認 -タイムラインレベル4-

【発表される情報・状況】

- 洪水警報の危険度分布（極めて危険）
- 洪水警報、大雨警報（浸水害）、大雨警報（土砂災害）
- 大雨警報（土砂災害）の危険度分布（極めて危険）
- 土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報、氾濫危険情報



洪水警報の危険度分布※ 大雨警報（土砂災害）の危険度分布※

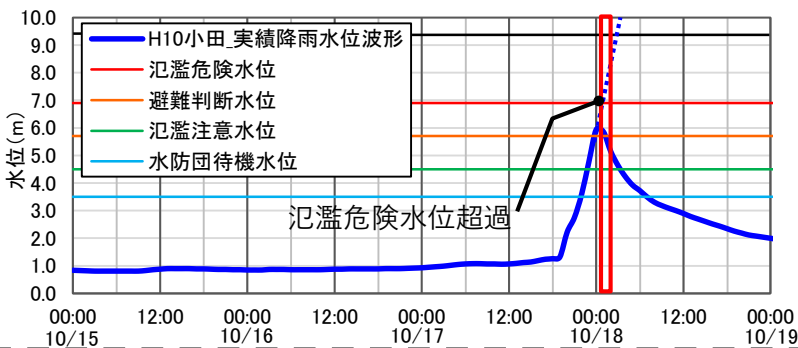
倉吉市 **【発表】洪水警報**
【継続】大雨警報（土砂災害、浸水害） 雷注意報

倉吉市	発表中の警報・注意報等の種別	今後の推移 (■警報級 □注意報級)										備考・関連する現象
		6日					7日					
		18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21		
大雨	1時間最大雨量 (ミリ)	40	50	50	40	40	40					
	(浸水害)											浸水警戒
	(土砂災害)											以後も警報級 土砂災害警戒
洪水	(洪水害)											以後も注意報級 氾濫
雷												以後も注意報級 竜巻

警報・注意報等の今後の推移※

※実際に発表した警報・注意報に基づく資料ではなく、見た目をわかりやすくした”イメージ図”です

【水位ハイドロ】



【河川国道事務所からメーリングリストで送信する文案】

件名	【天神川水害タイムライン】 タイムラインレベルの移行について（レベル4）
メール文案	天神川水害タイムライン検討会 メンバー各位 天神川水害タイムライン事務局より、以下の通りお知らせします。 ■現状について ・10月17日23時に天神川直轄管理区間では、 〇〇〇水位観測所で氾濫危険水位を超過 しました。 ■タイムラインレベルについて 気象情報、河川水位の状況等から、 レベル4 とします。 各関係機関においては、移行レベルの行動状況について確認いただくとともに、引き続き、最新の気象情報等に十分留意してください。

タイムラインレベルの移行基準の情報（下記赤字箇所）が発表、確認された際に、「■現状について」に、その情報を記載してメールにより連絡します。

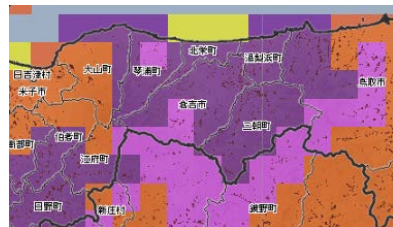
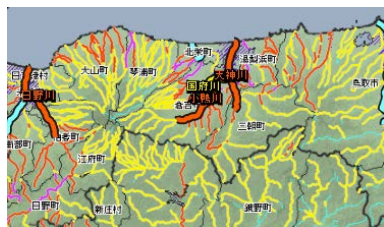
「■現状について」の文章パターン例

- ・〇月〇日〇時に天神川流域に「**洪水警報**」「**大雨警報（浸水害・土砂災害）**」「**暴風警報**」「**土砂災害警戒情報**」「**記録的短時間大雨情報**」が発表されました。
- ・〇月〇日〇時に天神川流域に「**洪水警報の危険度分布**」「**大雨警報（土砂災害）の危険度分布**」で非常に危険（薄い紫色）が確認されました。
- ・〇月〇日〇時に天神川で「**氾濫危険情報**」を発表しました

各レベルの状況シナリオと河川国道事務所からの連絡内容の確認 -タイムラインレベル5-

【発表される情報・状況】

- **大雨特別警報（浸水害）、大雨特別警報（土砂災害）**
- **氾濫発生情報**



洪水警報の危険度分布※ 大雨警報（土砂災害）の危険度分布※

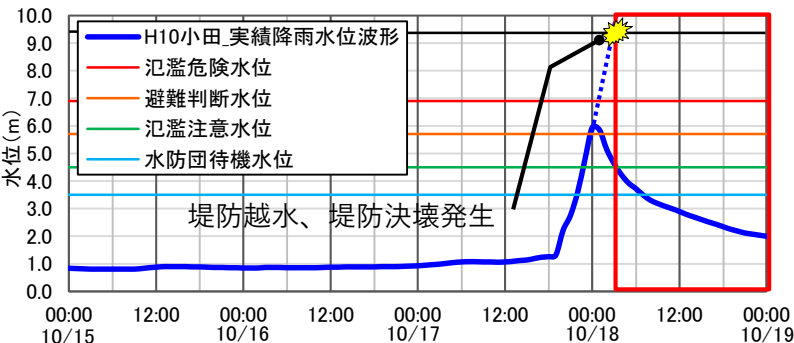
倉吉市 **【発表】大雨特別警報（土砂災害）**
【継続】洪水警報 雷注意報

発表中の 警報・注意報等の種別	今後の推移(■特別警報級 ■警報級 ■注意報級)								備考・ 関連する現象	
	6日 18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18		18-21
大雨 1時間最大雨量 (mm)	40	50	50	40	40	40				
(浸水害)										浸水警戒
(土砂災害)										以後も特別警報級 土砂災害警戒
洪水 (洪水害)										以後も注意報級 氾濫
雷										以後も注意報級 竜巻

警報・注意報等の今後の推移※

※実際に発表した警報・注意報に基づく資料ではなく、見た目をわかりやすくした”イメージ図”です

【水位ハイドロ】



【河川国道事務所からメールングリストで送信する文案】

件名	【天神川水害タイムライン】 タイムラインレベルの移行について（レベル5）
メール文案	天神川水害タイムライン検討会 メンバー各位 天神川水害タイムライン事務局より、以下の通りお知らせします。 ■現状について 天神川右岸、7.0kmにおいて堤防の決壊が発生しました。 ■タイムラインレベルについて 気象情報、河川水位の状況等から、 <u>レベル5</u> とします。 ※今後、最新の注意・警報報・気象情報に十分留意してください。

タイムラインレベルの移行基準の情報（下記赤字箇所）が発表、確認された際に、「■現状について」に、その情報を記載してメールにより連絡します。

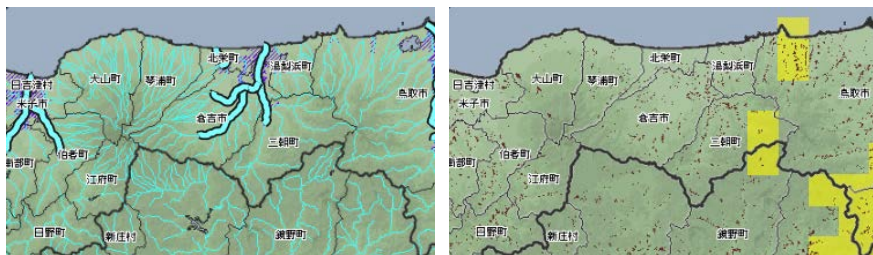
「■現状について」の文章パターン例

- ・○月○日○時に天神川流域に「大雨特別警報」が発表されました。
- ・○月○日○時に天神川で「氾濫発生情報」を発表しました

各レベルの状況シナリオと河川国道事務所からの連絡内容の確認 -タイムラインレベル移行（引き下げ）・解除-

【発表情報・状況】

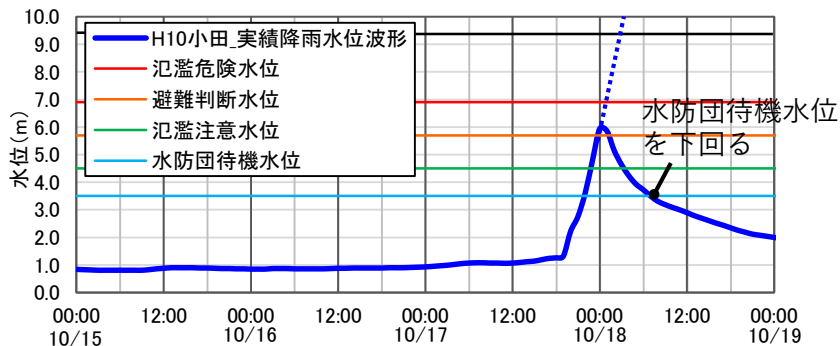
- 天神川流域自治体に発表されていたすべての気象警報が解除
- すべての基準水位観測所で水防団待機水位を下回る



洪水警報の危険度分布※ 大雨警報（土砂災害）の危険度分布※

※実際に発表した警報・注意報に基づく資料ではなく、見た目をわかりやすくした“イメージ図”です

【水位ハイドロ】



【河川国道事務所からメーリングリストで送信する文案】

■解除について

件名	【天神川水害タイムライン】タイムラインの解除について
メール文案	<p>天神川水害タイムライン検討会メンバー 各位</p> <p>天神川流域自治体に発表されていたすべての大雨警報（浸水害）、洪水警報が解除され、天神川の水位はすべての基準水位観測所で水防団待機水位を下回っているため、本メールをもってタイムラインを解除します。</p> <p>タイムラインは解除されますが、各関係機関で対応中または対応すべき行動がある場合は引き続き対応をお願い致します。</p>

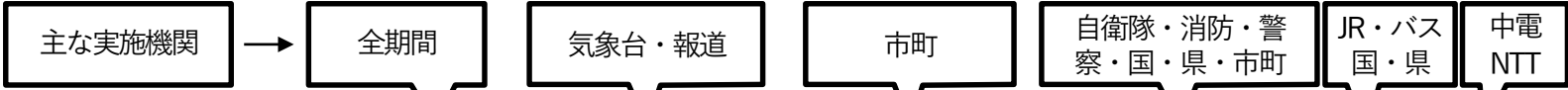
※各市町、各機関が土砂災害への対応や道路規制等の対応中であっても、上記のように、「警報が解除かつ水防団待機水位を下回った」場合には、タイムラインとしての対応は終了として解除の連絡を発信します

■タイムラインレベル移行（引き下げ）について

件名	【天神川水害タイムライン】レベルの移行（引き下げ）について（レベル〇）
メール文案	<p>天神川水害タイムライン検討会メンバー各位</p> <p>〇月〇日（〇）〇時〇分に実施した天神川水害タイムライン内部会議の調整結果を情報共有します。</p> <p>■現状について 〇時〇分に天神川、小鴨川、国府川、三徳川のすべての基準水位観測所で〇〇水位を下回りました。</p> <p>■タイムラインレベルについて 河川水位の状況から、〇月〇日（〇）〇時現在 レベル〇（引き下げ）とします。</p> <p>※引き続き、最新の警報・注意報・気象情報等には十分留意してください</p>

3.行動目的別に一連の流れの読み合わせ

大きく6つの行動目的に分けてタイムラインの流れをそれぞれ主に実施する機関に着目して確認します。



TL レベル	主なイベント発生	主な発表情報	タイムライン運用	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
TL レベル 0 (3日前)	-3日後に台風が天神川流域に影響するおそれ	-台風情報 -気象情報 -早期注意情報(管轄線の警戒性)【目安:3日後に影響】	TLの立ち上げ	1.組織体制	2.伝達・広報	3.避難支援	4.救助・水防活動	5.交通確保	6.ライフライン対策				
TL レベル 0 (2日前)	-2日後に台風が天神川流域に影響するおそれ	-台風情報 -気象情報 -早期注意情報(管轄線の警戒性)【目安:2日後に影響】	TLのレベル(2日前)移行										
TL レベル 1	-降雨の開始 -内水氾濫発生の見込み	-台風情報 -気象情報 -早期注意情報(管轄線の警戒性)【目安:1日後に影響】	TLのレベル移行										
TL レベル 2	-水防団待機水位の超過 -氾濫注意水位超過 -内水氾濫発生のおそれ -強風(風速12m/s程度)	-台風情報 -気象情報 -大雨・洪水注意情報 -氾濫手続情報 -洪水予報(氾濫注意情報) -水害警報(待機・準備・出動) -洪水警報の危険度分布(警戒・黄色) -土砂災害に関するメッシュ情報(注意・黄色)	TLのレベル移行										
TL レベル 3	-避難判断水位超過 -中小河川の氾濫による浸水発生のおそれ -暴風域内(風速20m/s以上)	-台風情報 -気象情報 -大雨・洪水・土砂災害警報 -暴風警報 -洪水予報(氾濫警戒情報) -洪水警報の危険度分布(警戒・黄色) -土砂災害に関するメッシュ情報(警戒・黄色)	TLのレベル移行										
TL レベル 4	-氾濫危険水位超過 -中小河川の氾濫による浸水発生	-台風情報 -気象情報 -氾濫危険情報(大雨情報) -土砂災害警戒情報	TLのレベル移行										

3.行動目的別に一連の流れの読み合わせ

1.組織体制

行動目的別に対応の確認 -組織体制-

組織体制については、すべての関係機関について各レベルでの行動の流れを確認します。

【黄色：移行レベルで新たに実施する行動】について説明します（着色なしは、継続実施の項目）。

①組織体制：災害が発生、発生するおそれがある場合に、対応を実施するための組織編成及び運用に関する行動

②配備及び動員：災害を防御し、又はその拡大を防止するための防災に関する配備及び動員体制に関する行動

TLレベル	主なイベント発生	主な発表情報	タイムライン運用	①組織体制	②配備及び動員
TLレベル0 (3日前)	3日後に台風が天神川流域に影響するおそれ	・台風情報 ・気象情報 ・早期注意情報(警報級の可能性)【目安: 2日後に影響】	TLの立ち上げ	市町幹部会議の開催 協力業者への事前依頼	機関内防災体制の確認
TLレベル0 (2日前)	3日後に台風が天神川流域に影響するおそれ	・台風情報 ・気象情報 ・早期注意情報(警報級の可能性)【目安: 2日後に影響】	TLのレベル(2日前)移行	市町幹部会議の開催 リエゾン派遣の準備 協力業者への事前依頼・防災士等への確認	機関内防災体制の確認
TLレベル1	・降雨の開始 ・内水氾濫発生のおそれ	・台風情報 ・気象情報 ・早期注意情報(警報級の可能性)【目安: 1日後に影響】	TLのレベル移行	災害対策本部の設置 リエゾン派遣の準備・派遣 協力業者への事前依頼	機関内防災体制の確認
TLレベル2	・水防団待機水位の超過 ・氾濫注意水位超過 ・内水氾濫発生のおそれ ・強風(風速12m/s程度)	・台風情報 ・気象情報 ・大雨・洪水注意警報(注意) ・内水氾濫発生のおそれ ・洪水警報(待機・準備・出動) ・洪水警報の危険度分布(注意・警戒) ・土砂災害に関するメッシュ情報(注意・警戒)	TLのレベル移行	災害対策本部の設置 リエゾン派遣の準備 協力業者への事前依頼	機関内防災体制の確認 従業員全体の確保
TLレベル3	・避難勧告断水超過 ・中小河川の氾濫による浸水発生のおそれ ・暴風域内(風速20m/s以上)	・台風情報 ・気象情報 ・大雨・浸水警報・土砂災害警報(警戒・警戒) ・暴風警報 ・暴風警報 ・洪水予報(氾濫警戒情報) ・洪水警報の危険度分布(警戒・警戒) ・土砂災害に関するメッシュ情報(警戒・警戒)	TLのレベル移行	災害対策本部の設置 リエゾン派遣 協力業者への事前依頼	機関内防災体制の確認 従業員全体の確保
TLレベル4	・氾濫危険水位超過 ・中小河川の氾濫による浸水発生	・台風情報 ・気象情報 ・警戒的短時間大雨情報 ・土砂災害警戒情報 ・洪水予報(氾濫危険情報) ・洪水警報の危険度分布(非常に危険: 薄い紫色) ・土砂災害に関するメッシュ情報(非常に危険: 薄い紫色)	TLのレベル移行	災害対策本部の設置 リエゾン派遣 協力業者への依頼 応援要請	機関内防災体制の確認 従業員全体の確保
TLレベル5	・本川からの越水 ・堤防の決壊	・台風情報 ・気象情報 ・大雨警報 ・洪水予報(氾濫発生情報) ・洪水警報の危険度分布極めて危険: 濃い紫色	TLのレベル移行	災害対策本部の開催 現地対策本部の設置・公表・運営 応援要請 ヘリコプター申請 災害対策の状況確認 記者発表	機関内防災体制の確認

レベル0 (3日前～2日前)

- 市町は、「市町幹部会議を開催」し、事前に災害時の「機関内防災組織体制の確認」を実施します。
- 鳥取地方気象台や倉吉河川国道事務所、鳥取県は、4市町への「リエゾン派遣の準備」を行います。
- 倉吉河川国道事務所や鳥取県は、「協力業者等への事前連絡や防災エキスパートの確認」を行い、人的支援体制を整え、迅速な対応が可能な体制の準備を行います。

レベル1

- 中国電力、NTT西日本、JR西日本では、状況に応じて「災害対策本部（もしくは警戒本部、災害対策連絡室等）を設置」します。

レベル2

- 倉吉市では、「災害対策本部の設置・公表」を行い、倉吉河川国道事務所へ「リエゾンの派遣申請」を行います。
- 4市町では、気象情報等の状況により、それぞれ準備体制や注意体制、警戒体制、第一配備等による職員の配備・動員等についての「機関内防災体制の確認」を行います。

レベル3

- 鳥取県、北栄町、自衛隊、警察、消防局では、「災害対策本部（警戒本部、情報連絡室等）を設置」します。
- 4市町では、気象情報等の状況により、それぞれ警戒体制や第二配備等による職員の配備・動員等についての「機関内防災体制の確認」を行います。

レベル4

- 三朝町、湯梨浜町では、「災害対策本部の設置・公表」を行います。
- 4市町では、気象情報等の状況により、それぞれ非常体制等による職員の配備・動員等についての「機関内防災体制の確認」を行います。
- 4市町では、必要に応じて倉吉河川国道事務所や警察、消防へ「応援要請」を行い、倉吉河川国道事務所や中部総合事務所では、防災エキスパートや防災技術支援者申請等の「協力業者への依頼」を行います。

レベル5

- 4市町では、必要に応じて「現地本部を設置」します。
- 救援・救助のために、自衛隊や関係機関、協力会社等への「応援要請」や「ヘリコプター申請」を行い、応急対応を行います。必要に応じて「記者発表」を行います。

3.行動目的別に一連の流れの読み合わせ

2.情報収集・伝達・広報

行動目的別に対応の確認 -情報収集・伝達・広報-

③被害の軽減、拡大防止を図るための気象、水防、消防等災害関係予報、警報等の迅速かつ的確な収集及び伝達に関する行動

④市民等の不安を除くとともに、防災関係機関及び公共的団体等による災害対策の実施を促進し、更なる被害の拡大防止を図るための的確かつ迅速な広報活動及び適切な広聴活動に関する行動

TLレベル	主なイベント発生	主な発表情報	タイムライン運用	③ 情報収集・伝達	④ 災害広報・広聴
TLレベル0 (3日前)	3日後に台風が天神川流域に影響するおそれ	・台風情報 ・気象情報 ・早期注意情報(警報級の可能性【目安: 2日後に影響】)	TLの立ち上げ	台風シナリオの作成 台風情報・注意報・警報の発信 雨量・水位情報の発信	台風情報、気象情報、道路交通情報等の放送 現地取材情報の放送 危険性の呼びかけ 作中イベント中止判断
TLレベル0 (2日前)	2日後に台風が天神川流域に影響するおそれ	・台風情報 ・気象情報 ・早期注意情報(警報級の可能性【目安: 2日後に影響】)	TLのレベル0(2日前)移行	台風シナリオの確認 台風情報・注意報・警報の発信 雨量・水位情報の発信 台風説明会の開催	台風情報、気象情報、道路交通情報等の放送 現地取材情報の放送 危険性の呼びかけ 作中イベント中止判断
TLレベル1	・降雨の開始 ・内水氾濫発生のおそれ	・台風情報 ・気象情報 ・早期注意情報(警報級の可能性【目安: 1日後に影響】)	TLのレベル移行	台風シナリオの確認 台風情報・注意報・警報の発信 雨量・水位情報の発信・伝達 避難情報等の伝達 台風説明会の開催 緊急想定 ホットライン	台風情報、気象情報、道路交通情報等の放送 現地取材情報の放送 危険性の呼びかけ 避難情報の伝達
TLレベル2	・水防用待機水位の超過 ・氾濫注意水位超過 ・内水氾濫発生のおそれ ・台風風速(12m/s程度)	・台風情報 ・気象情報 ・大雨・洪水注意報 ・氾濫注意報 ・洪水予報(氾濫注意情報) ・洪水警報(待機・準備・警戒・注意) ・洪水警報の危険度分布(注意・警戒) ・土砂災害に関するメッシュ情報(警戒・黄色)	TLのレベル移行	台風シナリオの確認 台風情報・注意報・警報の発信 雨量・水位情報の発信・伝達 避難情報等の伝達 ライフライン供給情報の収集 緊急想定 ホットライン 洪水予報	一般住民、被災者に対する情報提供 台風情報、気象情報、道路交通情報等の放送 現地取材情報の放送 危険性の呼びかけ 避難情報等の伝達
TLレベル3	・避難料断水位超過 ・中小河川の氾濫による浸水発生のおそれ(暴風圏内風速20m/s以上)	・台風情報 ・気象情報 ・大雨・洪水警報・土砂災害警報 ・暴風警報 ・洪水予報(氾濫警戒情報) ・洪水警報の危険度分布(警戒・赤色) ・土砂災害に関するメッシュ情報(警戒・赤色)	TLのレベル移行	台風シナリオの確認 台風情報・注意報・警報の発信 雨量・水位情報の発信・伝達 避難情報等の伝達 ライフライン供給情報の収集 緊急想定 ホットライン 洪水予報	一般住民、被災者に対する情報提供 台風情報、気象情報、道路交通情報等の放送 現地取材情報の放送 危険性の呼びかけ 避難情報等の伝達 被災者相談窓口の設置 L字画面による情報提供
TLレベル4	・氾濫危険水位超過 ・中小河川の氾濫による浸水発生	・台風情報 ・気象情報 ・記録的短時間大雨 ・土砂災害警戒情報 ・洪水予報(氾濫危険情報) ・洪水警報の危険度分布(非常に危険: 薄い紫色) ・土砂災害に関するメッシュ情報(非常に危険: 薄い紫色、赤色の危険: 濃い紫色)	TLのレベル移行	台風シナリオの確認 台風情報・注意報・警報の発信 土砂災害警戒情報・記録的短時間大雨警報の伝達 雨量・水位情報の発信・伝達 避難情報等の伝達 ライフライン供給情報の収集 緊急想定 ホットライン 洪水予報	一般住民、被災者に対する情報提供 台風情報、気象情報、道路交通情報等の放送 現地取材情報の放送 危険性の呼びかけ 避難情報等の伝達 被災者相談窓口の設置 L字画面による情報提供 記者発表(出水・被害状況)の実施
TLレベル5	・本川からの越水 ・堤防の決壊	・台風情報 ・気象情報 ・大雨特別警報 ・洪水予報(氾濫発生情報) ・洪水警報の危険度分布(極めて危険: 濃い紫色)	TLのレベル移行	特別警報の伝達 雨量・水位の情報収集 避難情報等の伝達 ライフライン供給状況の報告 緊急想定 ホットライン	現地取材情報の放送 ライフライン稼働状況の報告 避難情報等の伝達

レベル0 (3日前～2日前)

- ・台風シナリオを作成し、確認を行うとともに、台風説明会により情報発信を行います。
- ・鳥取県は、災害警戒連絡会議を行い(気象台より台風説明会資料について説明)、市町及び消防局には映像配信を行います。
- ・気象台、河川管理者雨量・水位情報の発信を行います。
- ・市町は、イベント中止判断を行い、市民等への広報を行います。

レベル1

- ・4市町及び報道機関は、前日の行動を継続しながら、住民への注意喚起を行います。

レベル2

- ・気象台、国、県は、リエゾン派遣の準備やホットラインによる助言を行います。
- ・天神川等の洪水予報(氾濫注意情報)を気象台、倉吉河川より、状況に応じて発表します。

レベル3

- ・気象台、国、県は、ホットラインによる助言を市町に行います。
- ・報道機関は、台風情報、気象情報、道路交通情報、現地取材情報の放送、避難情報等をL字画面による情報提供を行いつつ、住民への注意喚起を強化します。

レベル4

- ・ホットラインによる助言を市町に行います。
- ・報道機関は、台風情報、気象情報、道路交通情報、現地取材情報の放送、避難情報等をL字画面による情報提供を行いつつ、住民への注意喚起を強化します。(レベル3からの継続)
- ・必要に応じ、記者発表(出水・被害状況)を実施します。

レベル5

- ・報道機関は、現地取材情報、ライフライン稼働状況、避難情報の報道を行います。
- ・必要に応じ、記者発表(出水・被害状況)を実施します。

3.行動目的別に一連の流れの読み合わせ

3.避難支援

行動目的別に対応の確認 -避難支援-

概要版 (避難支援)

避難支援については、4市町に着目して各レベルでの行動の流れを確認します。

【 】: 移行レベルで新たに実施する行動】について説明します(着色なしは、継続実施の項目)。

- ⑤: 避難支援: 住民を適切に避難させ、人的被害を最小限に抑えるための避難勧告等の発出に関する行動、⑥: 避難所開設・運営: 緊急避難場所及び避難所の適切な開設及び運営に関する行動、⑩: 要配慮者支援: 要配慮者に対し、災害時に必要な支援を迅速かつ的確に実施するための行動

TLレベル	主なイベント発生	主な発表情報	タイムライン運用	⑤ 避難支援	⑥ 避難所開設・運営	⑩ 要配慮者支援
TLレベル0 (3日前)	3日後に台風が天神川流域に影響するおそれ	・台風情報 ・気象情報 ・早期注意情報(警報級の可能性【目安: 2日後に影響】)	TLの立ち上げ	住民への注意喚起	自主避難所の開設準備	自治体と教育機関等の相互連携(休校・休校の判断)
TLレベル0 (2日前)	2日後に台風が天神川流域に影響するおそれ	・台風情報 ・気象情報 ・早期注意情報(警報級の可能性【目安: 2日後に影響】)	TLのレベル(2日前)移行	住民への注意喚起	自主避難所の開設準備 避難所開設の準備(搬入)	自治体と教育機関等の相互連携(休校・休校の判断) 要配慮者の送迎
TLレベル1	・降雨の開始 ・内水氾濫発生のおそれ	・台風情報 ・気象情報 ・早期注意情報(警報級の可能性【目安: 1日後に影響】)	TLのレベル移行	住民への注意喚起		臨時休校の周知
TLレベル2	・水防用待機水位の超過 ・氾濫注意水位超過 ・内水氾濫発生のおそれ(強風:風速12m/s程度)	・台風情報 ・気象情報 ・大雨・洪水注意警報(注意) ・洪水予報(氾濫注意情報) ・洪水警報(待機・準備・分布) ・洪水警報の危険度分布(注意・警戒) ・土砂災害に関するメッシュ情報(注意・警戒)	TLのレベル移行	住民への注意喚起 避難支援・誘導の実施	自主避難者への避難所の斡旋	臨時休校の周知
TLレベル3	・避難料断水位超過 ・中小河川の氾濫による浸水発生のおそれ(暴風域内:風速20m/s以上)	・台風情報 ・気象情報 ・大雨・洪水注意警報(警戒) ・洪水予報(氾濫警戒情報) ・洪水警報の危険度分布(警戒) ・土砂災害に関するメッシュ情報(警戒・警戒)	TLのレベル移行	避難準備・高齢者等避難開始の発令・伝達 避難者の誘導	指定避難所・避難場所・福祉避難所の開設・運営 所要物資の確保	児童・生徒、要配慮者利用施設の集団避難 子ども園等、社会福祉施設、病院、旅館等の避難対策 要配慮者等への情報提供
TLレベル4	・氾濫危険水位超過 ・中小河川の氾濫による浸水発生	・台風情報 ・気象情報 ・記録的短時間大雨情報 ・土砂災害警戒情報 ・洪水予報(氾濫警戒情報) ・洪水警報の危険度分布(非常に危険:薄い紫色) ・土砂災害に関するメッシュ情報(非常に危険:薄い紫色、極めて危険:濃い紫色)	TLのレベル移行	避難勧告の発令・伝達 避難指示緊急の発令・伝達 被災者救援活動の協議	避難所運営	緊急時対応要配慮者への連絡
TLレベル5	・本川からの越水 ・堤防の決壊	・台風情報 ・気象情報 ・大雨・洪水注意警報(非常に危険) ・洪水予報(氾濫発生警戒) ・洪水警報の危険度分布(極めて危険:濃い紫色)	TLのレベル移行	安否情報確認	指定避難所の開設・収容保護(自衛隊等の応援要請) 避難所運営	自治体と要配慮者施設の相互連携

レベル0 (3日前~2日前)

- ・気象台、国・県の発表情報等をもとに、4市町では「住民への注意喚起」を行います。
- ・「自主避難所の開設準備」を行い、「避難所開設の準備(搬入)」や「要配慮者の送迎」を実施します。
- ・状況に応じて、「自治体と教育機関等の相互連携」として、臨時休校、児童クラブの閉所の検討を行います。

レベル1

- ・臨時休校を決定した場合は、「臨時休校の周知」を行います。

レベル2

- ・「自主避難者への避難所の斡旋」を行います。その際に、必要に応じて「避難支援・誘導を実施」します。

レベル3

- ・気象台、国・県の発表情報等をもとに、「指定避難所・福祉避難所等の開設・運営」、「所要物資の確保」を行い、「避難準備・高齢者等避難開始の発令・伝達」を行います。
- ・必要に応じて「避難者を誘導」します。
- ・要配慮者支援として「児童・生徒、要配慮者利用施設利用者の集団避難」、「子ども園等、社会福祉施設、病院、旅館等の避難対策」、「要配慮者等への情報提供」を行います。

レベル4

- ・気象台、国・県の発表情報等をもとに、「避難勧告の発令・伝達」や「避難指示(緊急)の発令・伝達」を行います。
- ・必要に応じて、警察・消防等と「被災者救援活動の協議」を行います。

レベル5

- ・警察・消防等への関係機関への協力依頼、安否情報確認、指定避難所の開設・収容保護(自衛隊等の応援要請)、要配慮者施設の状況確認を行います。

3.行動目的別に一連の流れの読み合わせ

4.救助・水防活動

行動目的別に対応の確認 -救助・水防活動-

概要版 (救助・水防活動)

⑦消防等活動 (救助) : 災害発生時の市民の生命や財産等の保護に関する行動
 ⑧水防活動 : 洪水に際し、水害を警戒、防御し、これによる被害の軽減、公共の安全の保持に関する行動

TLレベル	主なイベント発生	主な発表情報	タイムライン運用	⑦消防等活動 (救助)	⑧水防活動
TLレベル0 (3日前)	-3日後に台風が天神川流域に影響するおそれ	-台風情報 -気象情報 -早期注意情報(警戒級の可能性)【目安: 2日後に影響】	TLの立ち上げ		河川施設の点検・点検 災害対策車両・資機材等の確認 消防団長への注意喚起
TLレベル0 (2日前)	-2日後に台風が天神川流域に影響するおそれ	-台風情報 -気象情報 -早期注意情報(警戒級の可能性)【目安: 2日後に影響】	TLのレベル0(2日前)移行		河川施設の点検・点検 災害対策車両・資機材等の確認 消防団長への注意喚起 事前浸水対策
TLレベル1	-降雨の開始 -内水氾濫発生のおそれ	-台風情報 -気象情報 -早期注意情報(警戒級の可能性)【目安: 1日後に影響】	TLのレベル移行		河川施設の点検・点検 河川施設の対応(排水ポンプ車・土砂災害警戒区域(土砂災害)) 災害対策車両の準備
TLレベル2	-水防用待機水位の超過 -氾濫注意水位超過 -内水氾濫発生のおそれ -強風(風速12m/s程度)	-台風情報 -気象情報 -大雨・洪水注意情報 -氾濫注意情報 -水防予報(氾濫注意情報) -水防警報(待機・準備・出動) -洪水警報の危険度分布(注意・警戒) -土砂災害に関するメッシュ情報(注意・警戒)	TLのレベル移行	救護・救助活動の実施	水防本部の設置 水防警報(待機・準備・出動)の通知・指示 危険箇所の監視・警戒・報告 災害対策車両(排水ポンプ車)の待機・出動 水防活動の状況確認
TLレベル3	-避難判断水位超過 -中小河川の氾濫による浸水発生のおそれ -暴風域内(風速20m/s以上)	-台風情報 -気象情報 -大雨・浸水警報・土砂災害警戒情報 -暴風警報 -水防予報(氾濫警戒情報) -洪水警報の危険度分布(警戒・非常) -土砂災害に関するメッシュ情報(警戒・非常)	TLのレベル移行	救護・救助活動の実施	水防警報(指示)の通知 危険箇所の監視・警戒・報告 水位の通知 災害対策車両(排水ポンプ車)の待機・出動 水防活動の状況確認
TLレベル4	-氾濫危険水位超過 -中小河川の氾濫による浸水発生	-台風情報 -気象情報 -記録的短時間大雨情報 -土砂災害警戒情報 -洪水予報(氾濫危険情報) -洪水警報の危険度分布(非常に危険:薄い紫色) -土砂災害に関するメッシュ情報(非常に危険:薄い紫色)	TLのレベル移行	救護・救助活動の実施	水防警報(指示)の通知 危険箇所の監視・警戒・報告 水位の通知 災害対策車両(排水ポンプ車)の待機・出動 水防活動の状況確認
TLレベル5	-本川からの越水 -堤防の決壊	-台風情報 -気象情報 -大雨特報 -洪水予報(氾濫発生情報) -洪水警報の危険度分布極めて危険:濃い紫色	TLのレベル移行	救護・救助活動の実施 避難指示	決壊等の通報 被害拡大の防止 緊急対応(TEC-FORCE、決壊に対する応急対策等)により、復旧対応を開始します。

レベル0 (3日前~2日前)

- 河川施設の点検・巡視、災害対策車両・資機材等の確認を行います。
- 災害復旧資器材の確認を行うとともに、消防団長への注意喚起を行います。

レベル1

- 被害情報の収集、道路情報の収集、災害対策車両の準備、河川施設の点検・準備・操作(排水樋門等)等を行います。

レベル2

- 救援・救助の準備及び、要請に応じて、救援・救助活動を実施します。(以降継続実施)
- 水防本部の設置、水防警報(待機・準備・出動)の通知・指示を行います。
- 危険箇所の監視・警戒・報告、災害対策車両の準備・待機を行います。

レベル3

- 水防警報(指示)の通知を行います。
- 被害情報の収集、危険箇所の監視・警戒・報告、水位の通知、災害対策車両(排水ポンプ車)の待機・出動、水防活動の状況を確認します。
- 中部総合事務所は、必要に応じて、排水ポンプ車を県土整備事務所、西部総合事務所へ依頼します。

レベル4

- 水防活動の状況確認(排水樋門及びため池の管理)を行い、状況に応じて、消防団の退避を指示します。
- 水防管理者は、状況に応じて、住民への立退き指示を行います。

レベル5

- 必要に応じ、鳥取県より自衛隊への応援を要請します。
- 決壊等の通報、被害拡大の防止、緊急対応(TEC-FORCE、決壊に対する応急対策等)により、復旧対応を開始します。

3.行動目的別に一連の流れの読み合わせ

5.交通確保対策

行動目的別に対応の確認 -交通確保対策-

概要版 (交通確保対策)

⑨交通確保対策：災害時に、交通の混乱の防止、応急活動に必要な緊急通行の確保、危険箇所の通行による二次災害の防止を図るために実施する公衆用道路の通行の禁止・制限、鉄道・バス等の交通確保に関する行動

TL レベル	主なイベント発生	主な発表情報	タイムライン運用	交通確保対策
TL レベル0 (3日前)	-3日後に台風が天神川流域に影響するおそれ	-台風情報 -気象情報 -早期注意情報(警報級の可能性)【目安:2日後に影響】	TLの立ち上げ	道路施設の点検・点検
TL レベル0 (2日前)	-2日後に台風が天神川流域に影響するおそれ	-台風情報 -気象情報 -早期注意情報(警報級の可能性)【目安:2日後に影響】	TLのレベル0(2日前)移行	道路施設の点検・点検 「計画運休」の予告
TL レベル1	-降雨の開始 -内水氾濫発生のおそれ	-台風情報 -気象情報 -早期注意情報(警報級の可能性)【目安:1日後に影響】	TLのレベル移行	道路施設の点検・点検 道路通行のための準備 鉄道の運行停止検討 鉄道の「計画運休」実施の決定 バスの運行停止検討
TL レベル2	-水防団待機水位の超過 -氾濫注意水位超過 -内水氾濫発生のおそれ -強風(風速12m/s程度)	-台風情報 -気象情報 -大雨・浸水警報・土砂災害警報 -洪水警報 -水防団待機(待機・準備・出動) -洪水警報の危険度分布(注意・警戒) -土砂災害に関するメッセンジャー情報(注意・警戒)	TLのレベル移行	道路施設の点検・点検 浸水箇所への対応・通行止め 強風・降雨による交通規制の実施 鉄道・バスの運転調整の実施 バスの迂回ルートでの運行 バスの運行停止の検討(御前原駅・川内駅・新大塚駅) 鉄道・バスの乗客の状況確認
TL レベル3	-避難判断水位超過 -中小河川の氾濫による浸水発生のおそれ -暴風域内(風速20m/s以上)	-台風情報 -気象情報 -大雨・浸水警報・土砂災害警報 -暴風警報 -洪水警報(氾濫警戒情報) -洪水警報の危険度分布(警戒・警戒) -土砂災害に関するメッセンジャー情報(警戒・警戒)	TLのレベル移行	道路施設の点検・点検 強風・降雨量による国道・河合道路の通行止め 強風による警報主要道路(17号線、11号線)の通行止め 交通規制(道路閉鎖場所等、管理車に引き継ぐまで) 交通整理の実施 鉄道の運転調整の実施・運行停止検討 バスの運行停止の検討・運行停止(御前原駅・川内駅・新大塚駅) 鉄道・バスの乗客の状況確認
TL レベル4	-氾濫危険水位超過 -中小河川の氾濫による浸水発生	-台風情報 -気象情報 -記号的短時間大雨情報 -土砂災害警戒情報 -洪水警報(氾濫危険情報) -洪水警報の危険度分布(非常に危険:薄い紫色) -土砂災害に関するメッセンジャー情報(非常に危険:薄い紫色、極めて危険:濃い紫色)	TLのレベル移行	道路施設の点検・点検 強風・降雨量による国道・河合道路の通行止め 強風による警報主要道路(17号線、11号線)の通行止め 交通規制(道路閉鎖場所等、管理車に引き継ぐまで) 交通整理の実施 鉄道の運転調整の実施・運行停止検討 バスの運行停止の検討・運行停止(御前原駅・川内駅・新大塚駅) 鉄道・バスの乗客の状況確認
TL レベル5	-本川からの越水 -堤防の決壊	-台風情報 -気象情報 -大雨特別警報 -洪水警報(氾濫発生情報) -洪水警報の危険度分布(極めて危険:濃い紫色)	TLのレベル移行	交通規制 浸水による通行止め 運行停止(浸水)対応 復旧対応の開始

レベル0 (3日前~2日前)

- 道路施設の点検・巡視を実施します。
- JR西日本は、状況に応じて「計画運休」の検討を行います。

レベル1

- JR西日本は、鉄道の運行停止検討を行い、状況に応じて、「計画運休」実施を決定します。
- 日ノ丸自動車及び日本交通は、状況に応じて、バスの運行停止検討を行います。

レベル2

- 道路情報の収集
- 警察は、浸水箇所の通行止めや強風による速度規制(風速15m/s)を実施します。
- 鉄道、バスは、運行調整を行います(鉄道:計画運休を行っていない場合)。
- バスの迂回ルートでの運行や運行停止の検討を行います。(運転手から道路情報等の収集も行います)

レベル3

- 道路施設の点検・巡視、強風・降雨量による国道、県管理主要道路の通行止めを行います。
- 警察は、交通規制、交通整理を実施します。
- 鉄道、バスは、運行停止の検討、運行調整、状況に応じて、運行停止を行います。

レベル4

- レベル3の対応を引き続き実施します。

レベル5

- 警察は、交通規制、浸水による通行止め、交通整理を実施します。
- JR西日本、日ノ丸自動車及び日本交通は、運行停止(浸水)対応、復旧対応を開始します。

3.行動目的別に一連の流れの読み合わせ

6.ライン対応策

行動目的別に対応の確認 -ライフライン応急対策-

概要版 (ライフライン応急対策)

- ①電力の供給を確保するための電力施設の現状把握、災害時における電力施設の防護及び復旧の迅速化に関する行動
- ②水道施設の早期復旧により飲料水等の生活水の確保を図るための迅速な応急措置に関する行動
- ③下水道施設の早期復旧を図るとともに、二次災害の発生を防止するための迅速な応急措置に関する行動
- ④重要通信の確保、被災地域における通信の孤立を防ぎ、一般の通信も最大限確保するための行動

TLレベル	主なイベント発生	主な発表情報	タイムライン運用	③～④ ライフライン対策 (電カ・水道・下水・電通電話)
TLレベル0 (3日前)	-3日後に台風が天神川流域に影響するおそれ	-台風情報 -気象情報 -早期注意情報(警報級の可能性)【目安:3日後に影響】	TLの立ち上げ	点検・点検 災害時・復旧作業の準備 浸水対策
TLレベル0 (2日前)	-2日後に台風が天神川流域に影響するおそれ	-台風情報 -気象情報 -早期注意情報(警報級の可能性)【目安:2日後に影響】	TLのレベル0(2日前)移行	点検・点検
TLレベル1	-降雨の開始 -内水氾濫発生のおそれ	-台風情報 -気象情報 -早期注意情報(警報級の可能性)【目安:1日後に影響】	TLのレベル移行	電力施設の点検・点検 電力施設浸水対策 停電箇所の把握、復旧対応
TLレベル2	-水防団待機水位の超過 -氾濫注意水位超過 -内水氾濫発生のおそれ -強風(風速12m/s程度)	-台風情報 -気象情報 -大雨・洪水注意報 -強風注意報 -洪水予報(氾濫注意情報) -水防警報(待機・準備・出動) -洪水警報の危険度分布(注意・黄色) -土砂災害に関するメッシュ情報(注意・黄色)	TLのレベル移行	電力施設の点検・点検 電力施設浸水対策 停電箇所の把握、復旧対応 通信の停止対応
TLレベル3	-避難所断水超過 -中小河川の氾濫による浸水発生のおそれ -暴風域内(風速20m/s以上)	-台風情報 -気象情報 -大雨(洪水)警報・土砂災害警報 -洪水警報 -暴風警報 -洪水予報(氾濫警戒情報) -洪水警報の危険度分布(警戒・赤色) -土砂災害に関するメッシュ情報(警戒・赤色)	TLのレベル移行	停電箇所の把握、復旧対応 通信の停止対応
TLレベル4	-氾濫危険水位超過 -中小河川の氾濫による浸水発生	-台風情報 -気象情報 -記録的短時間大雨情報 -土砂災害警戒情報 -洪水予報(氾濫危険情報) -洪水警報の危険度分布(非常に危険:濃い紫色) -土砂災害に関するメッシュ情報(非常に危険:濃い紫色、極めて危険:濃い紫色)	TLのレベル移行	停電箇所の把握、復旧対応 災害時の浸水状況確認 浸水が想定される変電所の配電線延長区間の遮断 通信の停止対応
TLレベル5	-本川からの越水 -堤防の決壊	-台風情報 -気象情報 -大雨特別警報 -洪水予報(氾濫発生情報) -洪水警報の危険度分布(極めて危険:濃い紫色)	TLのレベル移行	被害の把握 復旧対応の開始

レベル0 (3日前～2日前)

- 中国電力、NTT西日本は、点検・巡視、応急復旧対応品の確認、変電所・電話交換所の事前浸水対策を行います。

レベル1

- 中国電力は、電力施設浸水対策、停電箇所の把握、復旧対応を行います。
- NTT西日本は、リエゾン体制の確認を行います。

レベル2

- 中国電力は、停電箇所の把握、復旧対応を行います。
- NTT西日本では、通信の停止対応を行います。

レベル3

- レベル2の対応を引き続き実施します。

レベル4

- 中国電力では、停電箇所の把握、復旧対応を行います。
- NTT西日本では通信の停止対応を行います。
- 中国電力(倉吉営業所)では、リエゾン体制の確認を行います。

レベル5

- 中国電力及びNTT西日本では、被害状況の把握、復旧対応を開始します。
- 4市町では、水道・下水道施設の被害状況の把握及び復旧作業を開始します。

災害時の総括版・詳細版の活用方法の確認

『総括版』の活用イメージ

避難支援に関わる「⑤避難支援」「⑥避難所開設・運営」「⑩要配慮者支援」のうち、レベル3における「⑤避難支援」について、倉吉市の行動を例に、総括版の活用方法を確認します。

資料2-3天神川水害タイムライン総括版のレベル3の倉吉市の欄、または、下記の図を確認してください。

概要版

TLレベル	主なイベント発生	主な発表情報	タイムライン運用	⑤ 避難支援	⑥ 避難所開設・運営	⑩ 要配慮者支援
TLレベル3	避難判断水位超過 中小河川の氾濫による浸水発生のおそれ 暴風域内(風速20m/s以上)	・台風情報 ・気象情報 ・大雨(浸水害・土砂災害)警報 ・洪水警報 ・暴風警報 ・洪水予報(氾濫警戒情報) ・洪水警報の危険度分布(警戒、赤色) ・土砂災害に関するメッシュ情報(警戒、赤色)	TLのレベル移行	避難準備・高齢者等避難開始の発令・伝達	指定避難所・避難場所・福祉避難所等の開設・運営	児童・生徒、要配慮者利用施設の集団避難
				避難者の誘導	所要物資の確保	子ども園等、社会福祉施設、病院、旅館等における避難対策 要配慮者等への情報提供

1. 各関係機関の行動は総括版で確認します

【第1階層（行動目的）】

- ①：組織体制
- ②：配備及び動員
- ③：情報収集伝達
- ④：災害広報・広聴
- ⑤：避難支援
- ⑥：避難所開設・運営
- ⑦：消防等活動（救助）
- ⑧：水防活動
- ⑨：交通確保対策
- ⑩：要配慮者支援
- ⑪：電力施設応急対策
- ⑫：水道施設応急対策
- ⑬：下水道施設応急対策
- ⑭：電信電話施設等応急対策

2. 確認したい機関名（倉吉市）の列を見ます

総括版

主な発表情報	分類	機関名									
		鳥取地方気象台	倉吉河川国道事務所	鳥取県	中部総合事務所	倉吉市	三朝町	三朝町			
・避難判断水位超過 ・中小河川の氾濫による浸水発生のおそれ ・暴風域内(風速20m/s以上) ・洪水警報 ・暴風警報 ・洪水予報(氾濫警戒情報) ・洪水警報の危険度分布(警戒、赤色) ・土砂災害に関するメッシュ情報(警戒、赤色)	タイムライン運用	タイムラインレベル移行	タイムラインのレベル移行	タイムラインレベル移行 ①災害対策本部の設置※ ※もしくは警戒本部等 ①リエゾン体制の確認		①災害対策会議の開催	①警戒本部の設置	①警戒本部の設置	①警戒本部の設置	①災害対策会議の開催	
	組織体制	①リエゾン体制の確認	①リエゾン体制の確認	①リエゾン体制の確認	①リエゾン体制の確認	②機関内防災体制の確認(警戒体制Ⅱ)	②機関内防災体制の確認(第二配備)	②機関内防災体制の確認(警戒体制(2))	②機関内防災体制の確認(警戒体制(2))	②機関内防災体制の確認(警戒体制(2))	
	情報収集・伝達・広報	②台風シナリオの確認 ②気象・台風情報の発信 ②気象注意報・警報の発信	②雨量・水位の情報発信 ②道路交通情報の収集 ②漏水・浸食情報の収集 ②被害情報の収集 ②被害想定 ②ホットライン ②洪水予報	②気象注意報・警報の伝達(市町へ) ②雨量・水位の情報発信	②雨量・水位の情報発信	②雨量・水位の情報発信	②警報及び気象情報の伝達 ②土砂災害前兆現象の伝達	②警報及び気象情報の伝達 ②土砂災害前兆現象の伝達	②警報及び気象情報の伝達 ②土砂災害前兆現象の伝達	②警報及び気象情報の伝達 ②土砂災害前兆現象の伝達	②警報及び気象情報の伝達 ②土砂災害前兆現象の伝達
	避難支援	②ホットライン ②洪水予報	②被害情報の収集 ②被害想定 ②避難情報の収集	②被害情報の収集 ②被害情報の収集	②被害情報の収集	②被害情報の収集	④一般住民等への情報提供 ④庁内各課への情報提供 ④被災者相談窓口の設置	④一般住民等への情報提供 ④庁内各課への情報提供 ④被災者相談窓口の設置	④一般住民等への情報提供 ④庁内各課への情報提供 ④被災者相談窓口の設置	④一般住民等への情報提供 ④庁内各課への情報提供 ④被災者相談窓口の設置	④一般住民等への情報提供 ④庁内各課への情報提供 ④被災者相談窓口の設置
	消防等活動(救助)・水防活動			⑤住民への注意喚起		⑤避難準備・高齢者等避難開始の発令・伝達、県への報告 ⑤住民への注意喚起 ⑤避難支援、誘導の実施	⑤避難準備・高齢者等避難開始の発令・伝達、県への報告 ⑤住民への注意喚起 ⑤避難支援、誘導の実施	⑤避難準備・高齢者等避難開始の発令・伝達、県への報告 ⑤住民への注意喚起 ⑤避難支援、誘導の実施	⑤避難準備・高齢者等避難開始の発令・伝達、県への報告 ⑤住民への注意喚起 ⑤避難支援、誘導の実施	⑤避難準備・高齢者等避難開始の発令・伝達、県への報告 ⑤住民への注意喚起 ⑤避難支援、誘導の実施	
						⑥避難所・避難場所・福祉避難所の開設・運営・周知 ⑥所要物資の確保 ⑥児童・生徒、要配慮者利用施設の集団避難 ⑥要配慮者等への情報提供	⑥避難所・避難場所・福祉避難所の開設・運営・周知 ⑥所要物資の確保 ⑥児童・生徒、要配慮者利用施設の集団避難 ⑥要配慮者等への情報提供	⑥避難所・避難場所・福祉避難所の開設・運営・周知 ⑥所要物資の確保 ⑥児童・生徒、要配慮者利用施設の集団避難 ⑥要配慮者等への情報提供	⑥避難所・避難場所・福祉避難所の開設・運営・周知 ⑥所要物資の確保 ⑥児童・生徒、要配慮者利用施設の集団避難 ⑥要配慮者等への情報提供	⑥避難所・避難場所・福祉避難所の開設・運営・周知 ⑥所要物資の確保 ⑥児童・生徒、要配慮者利用施設の集団避難 ⑥要配慮者等への情報提供	
						⑧水防警報(指示)の通知 ⑧既往被害箇所、危険箇所の監視・警戒、異常を県へ報告 ⑧溜池の管理	⑧水防警報(指示)の通知 ⑧既往被害箇所、危険箇所の監視・警戒、異常を県へ報告 ⑧溜池の管理	⑧水防警報(指示)の通知 ⑧既往被害箇所、危険箇所の監視・警戒、異常を県へ報告 ⑧溜池の管理	⑧水防警報(指示)の通知 ⑧既往被害箇所、危険箇所の監視・警戒、異常を県へ報告 ⑧溜池の管理	⑧水防警報(指示)の通知 ⑧既往被害箇所、危険箇所の監視・警戒、異常を県へ報告 ⑧溜池の管理	
						⑨ホットラインの活用 ⑨水位の通報	⑨ホットラインの活用 ⑨水位の通報	⑨ホットラインの活用 ⑨水位の通報	⑨ホットラインの活用 ⑨水位の通報	⑨ホットラインの活用 ⑨水位の通報	

3. 「避難支援」の行を見ます。

5. 同じ行動項目は、同じ行に表示されているため、他機関との連携などがわかります。
例：避難に関する住民への注意喚起は、市町だけでなくトリピーメール等で県からも発信 等

4. 総括版の各行動項目の数字(①~⑭)は、行動目的(第1階層)であり、概要版と連動しているため、⑤となっている項目が倉吉市が「避難支援」として実施する行動項目であることが確認できます。

災害時の総括版・詳細版の活用方法の確認

『詳細版』の活用イメージ

続いて、引き続き、レベル3における「⑤避難支援」について、倉吉市の行動を例に、詳細版の活用方法を確認します。
資料2-4天神川水害タイムライン詳細版のレベル3の倉吉市の欄、または、下記の図を確認してください。

総括版

TL レベル	主な イベント発生	主な 発表情報	分類
1	・避難判断 水位超過 ・中小河川 の氾濫による 浸水発生 のおそれ ・暴風域内 (風速20m/s 以上)	・台風情報 ・気象情報 ・大雨(浸水 害・土砂災 害)警報 ・洪水警報 ・暴風警報 ・洪水予報 (氾濫警戒 情報) ・洪水警報 の危険度 分布(警戒: 赤色) ・土砂災害 に関する メッシュ情 報(警戒: 赤色)	タイムライン運用
			組織体制
2			情報収集・伝達・ 広報
			避難所・福祉避 難所 の配慮者利用 の 情報提供

1. 行動項目(第2階層)を達成するための行動手段(第3階層)について、確認したい項目を見ます。
(ここでは避難支援・誘導)

詳細版

防災行動項目		役割										
No.	チェック	倉吉市										
第1階層	第2階層	倉吉市										
天神川水害タイムライン(令和元年度版)【詳細版】 [タイムラインレベル0(3日前)]												
⑤避難支援												
416	避難所の踏査											
417	自主避難者の避難状況等の確認											
418	避難者カードの作成											
419	自主避難の状況と県へ報告											
420	避難準備・高齢者等避難開始の発令											
421	避難準備・高齢者等避難開始の伝達											
422	避難準備・高齢者等避難開始の発令の県への報告											
423	関係機関への協力依頼											
424	避難者支援・誘導の実施											
425	住民への注意喚起											
426	児童・生徒の集団避難											
427	子ども園等・社会福祉施設・病院・旅館等における避難対策											
428	要配慮者利用施設の集団避難											

2. 確認したい行動項目(第2階層)の頭の数字と同じ第1階層を見ます。

3. 総括版と同じ名称の行動項目を第2階層で見ます。

4. 行動項目(第2階層)を達成するための行動手段(第3階層)が確認できます。

5. 行動手段(第3階層)を実施するために連携する機関が確認できます。
例:「避難者支援・誘導の実施」は、市町と消防・警察が連携して実施

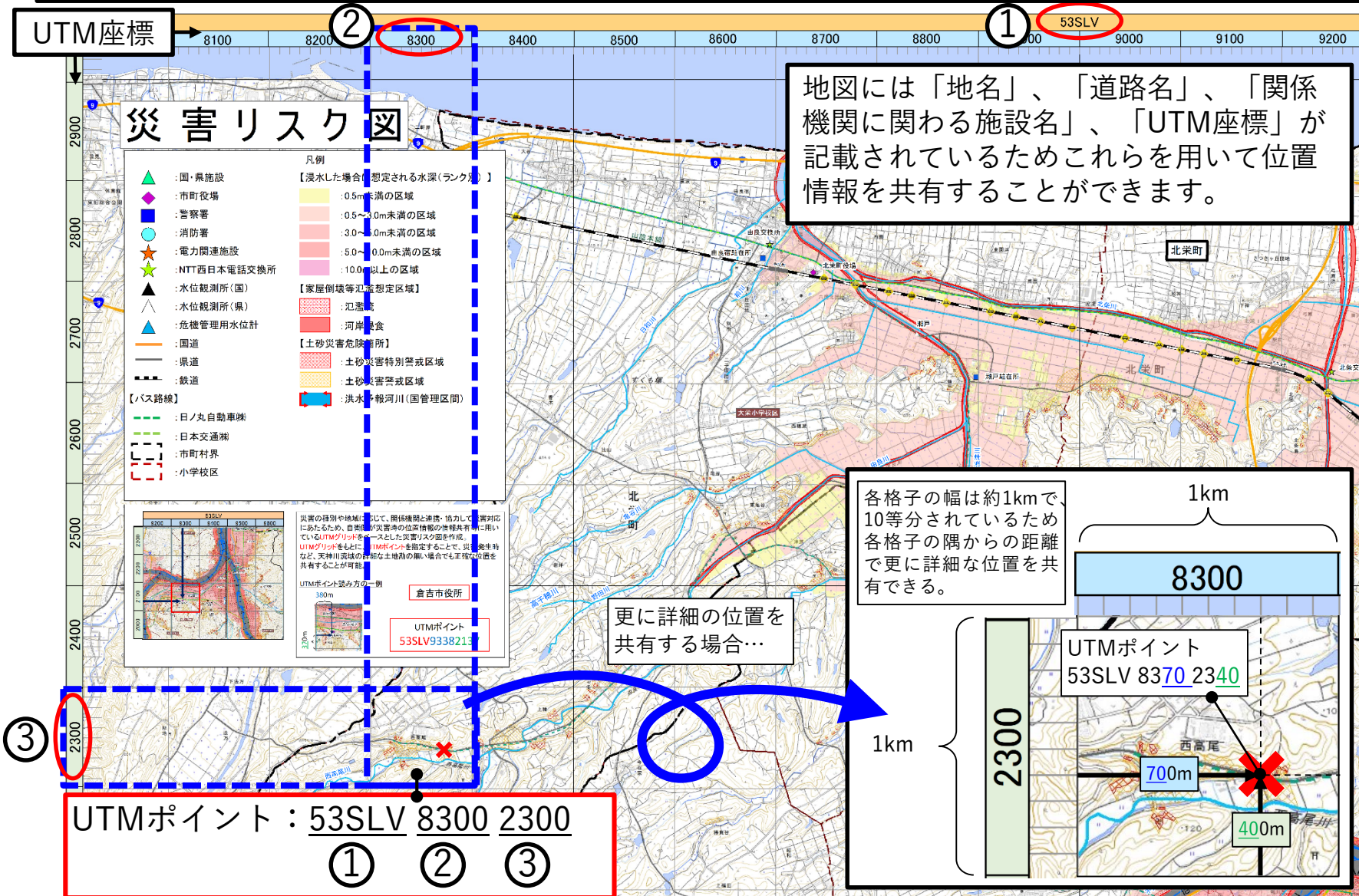
6. 実施する行動が「主体的に実施する行動」か「支援・協働、情報収集」の行動かわかる

◎: 主体的な行動、情報の発信
○: 行動の支援・協働、情報収集

4.運用支援ツールの確認

円滑にタイムラインを運用するための運用支援ツール、災害情報図の活用方法の確認 -天神川水害タイムラインに関する災害情報図-

北栄町西高尾周辺で土砂災害による道路被害が発生した場合を想定し、天神川水害タイムラインに関する災害情報図でできることを確認します。



5. 今後の展開について

今後の展開（多機関連携の促進）

- これまでの検討会で、天神川水害タイムラインの検討を行ってきましたが、今後、このタイムラインを運用するために、継続的に検討会のような場を設け、多機関連携の促進を図っていきます。

■大規模な水害が発生した場合には「これまでのやり方では限界がある」という危機意識

- ⇒ 第1回検討会でn天神川流域の水害リスクを共有し、限られた時間の中で対応する必要があることを知りました。また、災害時の対応で連携したいことを共有することで、これまでの単独の機関による対応から多機関での対応とする機会となり、情報共有等の連携について考えるきっかけになったことは、今回のタイムラインの成果の一つです。
- ⇒ 関係機関の行動を横並びをしたことによってタイミングの違いなども明らかとなり、地域防災計画や既存の防災計画を見直すことにもつながるため、今年度の検討会は非常に重要な機会となりました。

■継続的な「場」の設定

- ⇒ これまで「多機関で話し合える場がなかった」とのご意見がありましたが、タイムライン検討会で、話し合える場ができたため、今後も継続的にこのような場を設け、多機関連携について話し合いを実施していきましょう。

■継続的な学習（連携が進む水準に必要な知識の獲得）

- ⇒ 検討会の中で、防災情報とそれに関わる関係機関の行動という繋がりがああることを知りました。今後も、検討会の場で、逃げ遅れゼロのために必要な情報の共有について話し合っていきましょう。

■タイムラインの振り返り

- ⇒ 「タイムラインにより既存の防災計画が一覧となり活用しやすくなった」、「自機関の組織別のタイムラインを作成する際の参考となる」、「訓練のシナリオを検討する際の助けになる」、「運用支援ツールは情報収集するのに大変役に立つ」とのご意見をいただきました。
- ⇒ タイムラインの完成式を迎えますが、今回で終わりではなく、スタートであると考えています。より実践的なものとするために天神川水害タイムライン検討会のメンバーで検証や振り返りを実施していきましょう。